

○重要な学習事項：形容詞の比較級 ○クラスアクティビティ：パターンプラクティス、作文
 ○関連する既習事項：形容詞を使った文は学習済み。ただし形容詞という概念についてはふれていない。
 ○ねらい：形容詞という概念を理解し、形容詞の語彙を増やす事。使った英文を理解し、as～as…という表現を使えるようになる事。
 ○取り出し時間数：1時間

階級	学習活動	授業の流れ	学習・日本語支援
導 入	<p>○Warming Up</p> <p>○母語、日本語の学習で学んだ形容詞と英語の形容詞の概念を整理し、語彙を増やす。</p>	<p>○形容詞を使った小会話。 T: How are you today? T: How is the weather today?</p> <p>○生徒の知っている有名人の写真を提示する。</p> <p>T: Who is this? これ誰? S: X. He is X. T: How is he? How is he like? どんな人? S: つよい。かっこいい。 He is strong/big/good/young.</p> <p>○写真を黒板に掲示し、吹き出しをつくり形容詞を記入。</p>	<p>●適宜やさしい日本語を入れる。 [理解支援]</p> <p>○できるだけ英語の文で受け答えするように促す。</p> <p>○日本の有名人をあまり知らないようなら母国の有名人または、共通に知っている人を取り上げる。教員を取り上げると盛り上がり、また学校への親近感も増す。 [情意支援]</p> <p>●適宜やさしい日本語を入れる。</p> <p>○できるだけ英語の文で受け答えするように促す。</p> <p>○how/どんなを強調。意味が分からない場合には母語で。 [理解支援]</p> <p>○できるだけたくさん出させ、英語の文で表現するように促す。</p> <p>○生徒が発言したものの中から取り上げられるものを pick up.</p> <p>●出てこないようならば、こちらから提示。 日本語→英語(場合によっては母語の活用も。)</p>

○生徒の母国を型取ったものを提示する。

T: What is this?

S: Y!

T: How is Y? How is Y like? Y どんな?

S: (今) 暑い。楽しい。大きい。うるさい。

Y is hot/interesting/big/long/noisy.

○写真を黒板に掲示し、吹き出しをつくり形容詞を記入。

○上記の会話を復唱する。

T: How is X? How is he like? He is-----.

○吹き出しと吹き出しの間に『how/どんな』と板書。

T: 『どんな』をいう言葉を『形容詞』といいます。

○『How/どんな』の下に→を入れ『形容詞』(ルビも)と板書。

○ノートを取るように指示。

○ピクチャーカードを使って形容詞を提示。

T: 形容詞たくさん覚えよう。

○ノートに形容詞の単語表を作らせる。

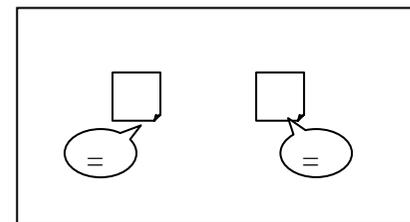
○ピクチャーカードを使って口答練習

○同上

○例示は生徒の状況にあわせて1つから3つ程度

●日本よりもーという発言が出てきたら次の時間に学習することを示唆。

[情意支援]



○写真と図、吹き出し、単語表の入ったプリントがあると良い。ない場合には写真、図の部分は固有名詞で。

●日本語/英語/必要に応じて母語で確認していく。

[理解支援]

○必要に応じて形容詞を黒板のはじめに書き出し表をつくる。

○as～as…の提示

パターンプラクティスで定着をはかる。

○形容詞の学習で登場した有名人と同じくらいの年令の有名人の写真を提示。

T: X is young. Xは若いね。じゃあ、この人は？若い？若くない？

S:若い。

T:若いよね。Zも若いです。

X is young. Z is young too.

何才かな？だいたい同じくらいだね。

XはYと同じくらい若いです。

X is as young as Z.

○写真を黒板に掲示し、写真の下に X is young. Z is young. と書き込む。

その下に X is as young as Z. XはZと同じくらい若い。 と記入。

二つの写真の上に A (be) as young as B./AはBと同じくらい (形容詞) だと記入。

○X,Z と違う年代の二人の有名人の写真を使って as old as で繰り返す。

○ノートを取るように指示。

○ピクチャーカードを使って英語で表現する。

(例) 同じくらいの背の高さの女の子二人。

同じくらいの大きさのりんご二つ。

同じくらいのねこ二匹。(かわいい)

同じくらいの本2冊。(おもしろい)

同じくらいの髪の毛の長さの女の子二人。

それぞれに A,B と印を付け、図の下に A,B が指すものを日本語と英語で書いて折る等して隠しておく。

○だいたい同じくらい、という表現が分からなければ、明らかに違う年代の有名人の写真を出して比較させ、違う、同じ、同じくらいを理解させる。

[理解支援]

A (be) as (形容詞) as B.

AはBと同じくらい形容詞だ。



○写真、図があり、文法事項、作文が書き込めるプリントがあると良い。ない場合には写真部分はなくてもいい。

○教科書に出てくる絵などを大きくして使用する。

A	B
(絵)	(絵)
this girl	that girl
この女の子	あの女の子

<p>運 用</p>	<p>○作文づくりを楽しみながら、 as～as…を使えるようになる。</p>	<p>T: Look at this picture. この絵を見て。 何が同じ？高い、低い、高さだね。同じくらいの高さだね。 形容詞は tall だね。 A is as tall as B. (A と B に入る英語を見せて) This girl is as tall as that girl. 言ってみて。 S: This girl is as tall as that girl.</p> <p>同様に繰り返す。</p> <p>○全部終わったら、ピクチャーカードを黒板に張り付け、ノートに書き取るように指示。 ○書き終わったら、もう一度全部読み上げさせる。</p> <p>○さらに、英語の下に日本語の文も書かせる。ここで A と B に入る日本語を見せる。 T:この女の子はあの女の子と同じくらい背が高い。 (絵や文法事項の訳のところをそれぞれ指差しながら確認。) (形容詞のところはプリント(ノート)を見るように言う)</p> <p>○as～as…を使ってラブレターをつくる。 T:今 S さんにはとってもとっても好きな人がいます。 その人に手紙を書きましょう。手紙の中でその人がどれくらい好きか、どのくらい素晴らしいか言ってみましょう。 (芸能人、架空の人物でも構わない。)</p>	<p>○高さ、大きさ、かわいさなどの形が難しいようであれば高い、低い、などでいい。 ○形容詞がでてこなければこちらから提示。ピクチャーカードに形容詞を記入していくとより分かりやすい。 ○tall が上位概念であるが、short が出てきた場合には short でもかまわない。</p> <p>●運用については在籍学級での授業に任せても良い。その場合には、在籍学級で使われるだろう英語/日本語の表現、教科書の読解などをやっておくと良い。</p>
----------------	--	---	--

Dear _____ ,
You are as as _____ .
I love you so much.
My love is as as _____ .
Yours, _____ .

(語彙については教えて構わない。可能ならば、母語(日本語) → 英語の辞書を使えれば辞書を引ながら考える。その際には形容詞のマーク、(形)またはadj. も一緒に教える。)

○時間内にできるようなら発表させる。できないようならば家庭学習とし、提出させる。